



ごあいさつ

令和5年4月より市議会議員として2期目の活動がスタートしました。6月定例会、12月定例会にて一般質問を行い、人口転出超過対策、宇治市教育DX推進計画策定、地域共生社会の実現、子宮頸がんワクチン普及啓発、精神保健福祉法改正への対応、市民が変化を実感できる行政DX推進を質問・要望するなど、今期も積極的な政策提言をしています。

NEWSで報告しきれなかった内容や、これまでの政策提言はホームページに掲載しておりますので、是非とも皆様のご意見をお聞かせください。

「対決より解決」の姿勢を堅持して、引き続き実現可能で具体的な政策提言に努めてまいります。



令和5年12月一般質問

令和5年 12月定例会 [一般質問]

1 教育DX推進計画を年度内に策定!



質問 令和2年10月一般質問を皮切りに、学校間・生徒間の教育DX格差を生じさせないためにも、これまで何度も教育DX計画の策定を当局に要望してきました。令和5年6月に引き続き、今回も改めて計画策定について質問・要望しました。

答弁 今後、教育DXを推進するにあたり、児童生徒一人ひとりへの最適な学びの提供、学校業務の効率化などの視点から、ICTを活用した児童生徒の情報活用能力の育成や、1人1台端末の更新を含む学校のICT環境のあり方などを盛り込んだ計画を、年度内を目途に策定していく。

これまでずっと要望してきた教育DXの計画が宇治市でもようやく策定されます。大変にありがたいことです。

令和3年3月一般質問では、教育ICT化の成果をどの時点で点検・評価・検証するのか質問し、当時の当局の答弁は、現時点で示すことのできるものはないという残念なものでした。また、教育ICT化計画がないことで、ICT機器活用の学校間格差が生じる可能性や、教育ICT機器導入によりかえって児童ごとの学力格差が生じるのではないかと指摘をしました。

令和4年12月、令和5年6月の一般質問では、小中学校ごとにかかなりの差が生じているWi-Fiルーターの貸出率や家庭への教育用タブレットの持ち帰り率を傍証として、学校間格差や教育格差がすでに生じているのではないかと質問しました。

一方で、令和5年度予算委員会では、市独自の学力調査

が検討されており、客観的なデータに基づく教育政策のEBPMが宇治市でも可能になってきたことを確認しました。

そもそも、なぜ、教育DXの計画が必要なのかというと、教育DX政策の今後の方向性を明確にし、具体的な目標や方針を設定して共有することで一貫性のある政策を進められること、進捗管理や評価改善のための基準を確立できること、これにより教育DX政策の効果を評価し、必要な改善策を講じられるからです。

策定予定の「宇治市教育DX推進計画」が真に意義のあるものとなるよう、引き続き建設的な政策提言に努めてまいります。

DX: デジタル化による変革 EBPM: 根拠に基づく政策立案

かどやVOICE



裏面へ続きます

2 子宮頸がんワクチン啓発月間を設定!

質問・要望 宇治市の子宮頸がんワクチン接種率は平成17年度生まれ(現在高校3年生相当)の女性で43%と、全国と同様に低調なため、定期接種及びキャッチアップ接種のどちらも更なる普及啓発が必要です。学校での出前講座や啓発パンフレットの配布、二十歳の集いでキャッチアップ接種周知活動、令和7年3月末までのキャッチアップ接種の期間延長要望や市独自の実施、そして啓発月間の設定を提言したところ、市でも啓発月間を設定して更なる周知啓発に努めることとなりました。



かどや VOICE



世界全体では健診とワクチンの普及により子宮頸がんになる人は少なくなる予想が立てられているにもかかわらず、日本では、子宮頸がんははまだ年間約1万人が罹患し、約2,800人が死亡しており、患者数・死亡者数とも近年漸増傾向にあります。特に、他の年齢層に比較して50歳未満という若い世代での罹患が増加する傾向にあることが問題となっています。年齢別の死亡数では39歳以下で年間約130人、44歳以下で年間約300人が子宮頸がんにより死亡するなど、若い人になる病気へと変化しています。

子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)の有効性については、2020年スウェーデンから世界で初めて国家規模で浸潤性子宮頸がんの減少効果を示す論文が発表され、17歳になるまでにワクチン

を接種した場合、浸潤性子宮頸がんになるリスクが88%低下したと報告されたように、HPV感染を減少させ、子宮頸がんになるリスクを低下させる明確な効果があります。(※1)

厚生労働省の令和4年度のHPVワクチン実施状況調査によると、定期接種については、第1回目接種率が42.2%、第2回目が39.4%、第3回目が30.2%とのことでした。積極的勧奨再開前に比べてずいぶんと改善していますが、まだまだ普及啓発が必要です。



※1 参考:日本産科婦人科学会『子宮頸がんとHPVワクチンに関する正しい理解のために』

地域の防災訓練支援



日々、活動中です!
見かけられましたら
気軽にお声がけください!

4年ぶりに開催!
新年の伝統行事「左義長」



宇治市
防災訓練に参加



能登半島地震義捐金の募金活動



大久保駐屯地
記念行事に参加



かどや 陽平【角谷 ようへい】プロフィール

S55 京都市伏見区出身
H5 宇治小学校卒業
H8 木幡中学校卒業
H11 洛南高校卒業
H15 京都大学法学部卒業
同年 陸上自衛隊入隊
H17 レンジャー教育修了
H21~ 東京海上日動あんしん生命勤務
H31~ 宇治市議会議員(2期目)

▶宇治市消防団東宇治分団所属
▶三室戸小学校PTA会長
【好きなこと】
家族・友人とキャンプ(一年中!)、杖道(剣道連盟3段)、料理と掃除、まんが収集、散歩
【好きな言葉】
上に立つな、前に立て!

ご意見はこちらまでお願いします

Eメール

yohei.kadoya@thevert.net

Facebook

FBで日々の活動発信中!

facebook.com/youhei.kadoya.3

ホームページ

これまでの政策提言はこちら

https://yohei-kadoya.com/

